



## 雇われるだけじゃない!



六ツ門の「くるめ創業ロケット」

## 若者の創業に期待!!

5月23日「創業支援」について経済常任委員会で議論し、「くるめ創業ロケット」を視察しました。

市職員から企業の創業や廃業の状況、貸し付け状況、創業支援の施策について聞きました。2016年から始まった「くるめ創業ロケット」は、創業支援の拠点として設置され、講座や個別相談会などが行われています。

創業塾やビジネスコンテストに参加する学生や若い人の様子、ここでできたネットワークが活きていることなどを聴きました。

若い人が「雇われて働くだけではない」ことを知り、地方で会社をおこして**小さなビジネス**を始める可能性を知ることは、大切です。それはその人にとっても、**地域や産業界**にとっても、いいことだと思います。

久留米は、農業のまちであり、商工業のまちです。すぐに成果がでなくとも、こうして、創業の種まきをすることは、重要な施策だと思います。



## 経済常任委員会から 建設常任委員会へ

久留米市議会の所属委員会は、2年ごとに交代します。ふじばやしは、今まで経済常任委員会でしたが、これから2年間は、建設常任委員会です。

建設常任委員会に入るのは、2回目ですが、市民の生活にとっても関係するテーマが多く、やりがいがあります。

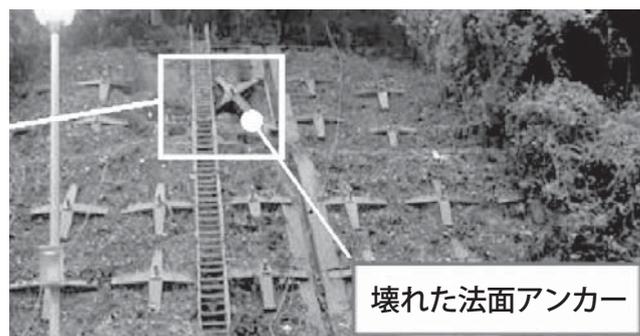


建設常任委員会は、市営住宅、交通、住宅政策、公園、道路、河川、都市計画、建築、ゴミ、リサイクル、生物多様性、地球温暖化...などを取り扱います。  
**みなさんのご意見をお寄せください**

また、議会運営委員会、広報委員会にも入りました。

市民のためにがんばります。

## 杉谷埋立地の法面<sup>のりめん</sup> 地すべり対策工事 2億1843万円の契約



壊れた法面アンカー

上津クリーンセンターや宮の陣クリーンセンターで燃やしたごみの焼却残渣や不燃ごみを埋め立てる最終処分場が、高良内杉谷地区の埋立地です。

その外周の法面が、一昨年7月の豪雨で被災しました。その地すべり対策の工事契約議案を6月議会建設常任委員会で審議しました。

浸出水などの安全面に影響はないとの説明でしたので、**地元への説明を今後も丁寧に行ってほしい**とふじばやしは要望しました。

最終処分場の安全な管理は、重要です。

一昨年の豪雨被災の工事などは、まだ続きます。(工事は、来年8月まで)

# 飲酒運転の議員、辞職せず。 3回目の辞職勧告決議を可決!



31対3 賛成多数  
(久留米市議会 議場)

2023年5月に飲酒運転をし、免許取り消しの行政処分を受けた森崎巨樹議員に同年8月、10月に辞職勧告決議を行いました。まだ辞職しないため、6月議会で3度目の辞職勧告決議を行いました。

ふじばやしにも、市民の方から厳しい意見が寄せられています。「うちの会社では、飲酒運転は、解雇される」「なぜ、クビにできないのか?」と。

**森崎巨樹議員の辞職勧告に関する決議**  
(前略) 勧告後も、活動を自粛することとしていくつかの議会内外の役職を辞任したが、一方で公費を使用した会派での視察には自ら企画し参加するなど、自粛は体面的なものではない。  
また、辞職勧告を受けた際の報道機関の取材では、進退については「多くの人の声を聞いて決めたい」として明言を避けながら、その結果について市民への説明は現時点でもなされないままである。  
そして最近では、あたくも視が済んだかのように活動を再開させようとする動きを見せている。このようなことは断じて許すことができない。  
これらのことから、このまま議員として公職にとどまることは、久留米市議会に対する市民の信頼をさらに失墜させることとなり、決して許容されるものではない。(後略)



石川一雄さん夫妻(映画のポスター)

# えん罪をなくすために 法改正を求める意見書を 国に提出

5月9日久留米シティプラザで映画「SAYAMA 見えない手錠をはずすまで」の上映と監督のトークがありました。1963年に埼玉県狭山市で起きた「狭山事件」で獄中32年、仮出獄から20年以上も殺人犯のレッテルを背負いながら無実を訴え続ける石川一雄さんと身近な方の日常が描かれてました。他のえん罪事件の方との交流も描かれてました。

石川さんは、今年3月に他界され、無念だったと思います。

袴田事件、大崎事件、足利事件、布川事件など、冤罪事件には、長い年月を要しており、高齢になったり、他界されていて、大きな人権問題だとふじばやしは思っています。この問題を解決するため、久留米市議会として再審手続に関する法の不備を是正する「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」を可決しました。

# ココでトモだちになろう…(株)ココトモファーム



6月18日 筑後地区の経営者の勉強会で「ココトモファーム」の齋藤秀一社長の講演を聴きました。

この会社は、愛知県犬山市にある、米づくりから取り組み、米粉でグルテンフリーのバウムクーヘンを製造販売する会社です。

齋藤社長の話は「私は発達障害(ADHD)で、子ども時代にいじめられ、居場所がなかった。安心できたのは、弟といる時だった。その弟が統合失調症になって…」という自己紹介から始まりました。障害だけではなく、生きづらさをかかえ、職場を転々とした方々が、この会社で、いきいきと働く姿、そのプロセスが紹介されました。モノを売るだけではない価値を社会に生み出し、経済を回していくという考え方で、会社の売り上げを伸ばす経営は、学び多い内容でした。

経営者の皆さんがこういう勉強会を開催されていることは素晴らしいと思いました。



水川町長と(陸上自衛隊久留米駐屯地の観桜会)

# 災害支援に感謝を忘れず

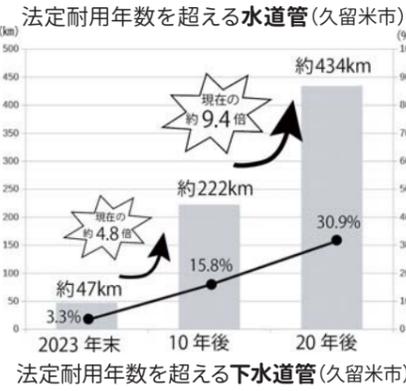
3月29日 佐賀県杵島郡大町町の水川町長と久しぶりにお会いしました。大町は、私の実家の隣町です。

水川町長は、2019年水害の時に久留米駐屯地から災害派遣されたことに感謝して、久留米駐屯地行事に度々、参加されています。

当時、私が大町の避難所を訪れた時、隊員が野外風呂を設営していました。あの時の大町の災害ゴミを宮の陣クリーンセンターで受け入れたことも感謝されています。

久留米市も災害支援でさまざまな自治体、団体にお世話になっています。こうして感謝の気持ちを示していらっしゃる水川町長の姿勢に見習いたいです。

# 急げ！上下水道の老朽化対策、耐震化



4月23日に経済常任委員会で議論しました。

水道、下水道の管路の老朽化は、グラフのようなスピードで進みます。(管路の更新をしなければ、です)

埼玉県八潮市の道路陥没事故では、トラック運転手の方が亡くなられ、120万人が下水道の利用自粛を求められ、生活や仕事に大きな影響が出ました。久留米市でも過去に宮の陣、櫛原で道路陥没がおきました。

そんな事態にならないために、管路の更新を計画的に進めないといけませんし、耐震化も必要です。インフラ新設への国からの補助や交付金に比べ、維持管理への補助が少ないことも問題だと思います。

また、それらを効率的に進めるには、技術系職員(電気、機械、土木)の知識、技術の向上が必須で人材育成が重要だと思います。

上下水道部の技術系職員は、107人。目立たない仕事ですが重要です。

12日「社会的養護等全国自治体議員ネットワーク・わか」のオンライン会議



11日 ふじばやし通信を久留米駅前配布

8日 久留米市戦没者慰霊祭に来賓出席

## 5月



29日 ろうあ工房つじ 20周年記念式典

22日 私が所属する「中央ささえ愛クラブ(老人クラブ)の総会。新たな会員7人を迎えて56人。役員さんの努力に頭が下がります

13日 つつじの花見(日中友好協会主催の留学生歓迎会)に参加。ミャンマー地震の犠牲者への追悼と復旧への祈りの集い(鳥栖市)

7日 高良内小学校統合式に来賓出席。青峰小学校との統合に伴う施設整備を見学

6日 久留米市視力障害者協会総会、久留米市身体障害者福祉協会総会



## 4月

30日 リメンバー3.11。西鉄久留米駅東口で芋煮を食べながら、東日本大震災や福島について皆さんの語りを聞いた

## 3月



15日 西自治会 防災訓練



15日 山口香さんの講演「スポンサーから考えるエンターテインメント」を聴いた。  
「あつまれ、かいじゅうの森」に参加(NPO法人言葉の森くるめ主催)ろうあ者の子ども若者と話したら、スタンプをもらえると聞いた。  
11月の「東京デフリンピック」に出るデフサッカークラブにデフバスケットの選手に会えた。応援しよう!

## 6月

24日 にじいろCAPの研修会で「障害のある子どもの権利と制約」について講演。小学校4年生のCAPプログラム、中学2年生のSOSの出し方教育など子どもへの権利にガッツリ関わるCAPのみなさんに、共感していただけて嬉しかった。

21日 教育民生常任委員会「子ども家庭センター」についてを傍聴。「市民や市民団体との協働」と言いながらも個別支援での協働に頼り、地域づくりや親のつながりづくりが弱いと思う。「重層的支援体制整備」にふれてないのはもったいない。

17日 城南中運動会。久留米工業大学の新棟オープンングセレモニーに来賓出席。包括支援センターすべてを運営する「一般社団法人くるめ地域支援センター」の、20周年記念祝賀会に来賓出席



13日 福岡県女性議員ネットワークの総会。研修。グループワークのテーマは、「女性議員を増やすには」「不登校・居場所」

ライン学習会に参加。

# 鳥栖の未来を拓く3期目へ！ 牧瀬あき子議員へ熱き期待



**中村** 私は、牧瀬さんと26年前に久留米地球市民ボランティアの会で知り合い、原発やオスプレイの運動も共に闘ってきました。牧瀬さん、議員になって8年目になりますね。2期目の活動はどうですか？



**牧瀬** 中学生の声を聞いて図書館の本を増やしたり、水路に落ちた人の話を聞いて安全対策を提案し、それが実現しました。「小さな声を大切に」ですね。

**藤林** やりがいを感じますよね。1期目と何か変わりましたか？

**牧瀬** 市民の方から伺ったお話から動くことが増えました。そして、市民の声を行政の計画や予算になぐには、と考えるようになりました。藤林さんに学んだ「法令や条例との接点の見つけ方」がヒントになってます。

**中村** なるほど・・・

**牧瀬** 1期目は、議会での質問について藤林さんに相談していましたが、2期目は永江ゆきさん（鳥栖市議会議員牧瀬と同じ会派）や近隣の議員と一緒に質問づくりの勉強会をしています。役立っています。

ます。中村 それは、いいですね。藤林さんが、牧瀬さんは市議会議員に向いていると思われたのは、どのような点だったのでしょうか？

**藤林** 議員になる前の牧瀬さんは、原発反対の活動で九州電力や県庁に足を運んでも、全く相手にされず、湯気が立つほど怒っていたんです。市民の為の本物の怒りが議員の仕事に向いていると。

**中村** 私もそう思います。さて、今年11月に鳥栖市議会議員選挙があります。今後の牧瀬さんに期待することは？

**藤林** 原発やオスプレイに怒る力は、人の命や人の思いを大切にすることに通じます。それは地方自治全体にも通じる、とても大切なことです。当選に向けてがんばりましょう。

## 出番 作：あい



### 牧瀬あき子さん プロフィール

- ◆ 1979年 久留米市西町生まれ
- ◆ 東国分小学校、諏訪中学校、久留米高校、福岡女学院大学。
- ◆ アフリカ・チャド共和国で1年間国際協力 NGO で活動。
- ◆ エフコープ生協で働く。
- ◆ 結婚して鳥栖市在住。
- ◆ 夫が営むたこ焼き屋「たこ姫」の副店長。
- ◆ 2017年～鳥栖市議会議員



鳥栖市の方をご紹介ください。  
ふじばやしまで